

平成30年度北海道地域学校協働活動推進管内別協議会（オホーツク会場）事業報告書

本協議会は、管内における子どもの学びや成長を支える活動を推進している人材の資質向上を図るとともに、地域学校協働活動等の一層の充実を目指すことを目的に開催しました。

■日 時：平成30年9月19日（水）

■会 場：紋別生涯学習センター

■参加者：22名

コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、放課後子ども総合プラン、土曜日の教育支援活動、子ども未来塾、の各事業で活動している方、教職員、PTA、ボランティア活動を行っている方、北海道家庭教育サポート企業の従業員やその家族の方等

■日 程：

9:45	10:00	10:05	10:35	11:10	11:15	12:15
受付	開会	(1)説明	(2)事例紹介	休憩	(3)演習	閉会



情報交換・感想交流の様子

【説 明】「地域学校協働活動の推進のポイント・北海道の子どもの現状と課題」

北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課社会教育指導班主査 為広 千里
コミュニティ・スクールの概要とともに、なぜ導入の動きが活発になってきているのかなど国や道の動向について説明しました。

また、北海道の子どもの現状と課題について、全国学力・学習状況調査の結果から、「本道の子どもたちは電子メディアに接する時間が長い傾向にあること」や、「オホーツク管内の子どもたちは全道平均値よりも更に長い状況であること」などを紹介し、子どもたちが、自分の生活をふりかえり、時間の使い方を考えられるような機会をつくる必要があることを説明しました。



コミュニティ・スクールの概要などの説明の様子

【事例紹介】「興部町の放課後子供教室について」

興部町教育委員会社会教育課社会教育係主査 遠藤 泰代 氏
興部町で平成29年4月から実施している放課後子供教室の様子について説明がありました。また、地域の方々や団体、関係機関の方々と交流しながら多くの活動を提供するよう運営を工夫していることや、学習時間の確保が家庭学習の習慣化につながっていること、「放課後の安全な居場所」となっているなど、地域の取組として定着してきていることなどが紹介されました。

発表後には、グループに分かれて、お互いの取組や抱えている疑問などについて情報交換を行いました。



興部町放課後子ども教室の説明の様子

【演 習】「自然体験・外遊びを促すプログラムの体験」

道立青少年体験活動支援施設ネイパル北見主幹 會田 大祐 氏
事業推進係 米山 宥歩 氏

はじめに講師から、ネイチャーゲームが「自然への気づき」を促しながら、年齢に関係なく楽しむことのできるゲームであることの説明がありました。その後、講師からだけでなく紋別生涯学習センターの職員からもゲームが紹介され、参加者は実際にいくつかのゲームを体験しました。

最後に、會田氏から、これらの活動を安全に行う上で必要な注意点が具体的に示され、参加者は今後の活動に生かすヒントを得ることができました。



ネイチャーゲーム体験の様子

【参加者の声】

- コミュニティ・スクールについて聞くことができ、これからの参考になった。
- 自分の町での実践を振り返るよい機会になった。
- 交流の時間がもっとほしかった。
- 事業の目的を考えると、安全面に配慮することの大切さが分かった。
- よい研修会だったので、もっと多くの人に参加してほしいと思った。